

美術

中学校第1学年 『粋なデザイン』—日本の伝統模様を学ぶ—

●これは、「埼玉県中学校教育課程指導資料 平成22年3月」のP98～99を基に、加筆・修正して作成したものです。
 「大切に伝承されてきた創造性の高い洗練された美を、素直な気持ちで深く感じ取らせること」をねらった鑑賞の活動です。
 展開中の①から④は、以下の【課題解決のための授業改善の視点】のそれぞれの取組であることを表します。

【課題解決のための授業改善の視点】

- ① 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動
- ② [共通事項]を意識した指導と評価
- ③ 表現及び鑑賞の能力を高める言語活動の充実
- ④ 活動の場・学習環境の充実

美術科では、表現する能力や鑑賞の能力を育てる観点から言語活動の充実を図ります。発想や構想を練ったり、作品の批評をし合ったりするなどの活動が期待されます。



【本時の目標】日本古来より使われている家紋の意味と成り立ちを知り、日本文化の歴史が育んだ完成度の高い伝統模様のよさに気付くとともに、多角的な対象の見方や感じ方を広げながら家紋の形や構成の美しさ、イメージを感じ取る。(鑑賞の能力)

| 過程 | 学習活動 予想される生徒の具体的な発言（「」） | 指導の工夫 〔共〕：〔共通事項〕に係る内容 | 評価と手立て 観点関・鑑：評価規準、【評価方法等】 ☆：十分満足できる状況（B判断生徒を例外手段） △：C判断生徒への手立て ★教育に関する3つの達成目標との関連 ◎学力向上プランとの関連 |
|---|---|--|--|
| <p>学習のめあてを示し、興味・関心を高めるとともに見通しをもてるようにします。①</p> | | | |
| 導入 5分 | <p>提案 家紋の形や構成の美しさ、イメージを感じ取り、伝統模様のよさや美しさを味わおう。</p> <p>1 教師の提案を聞き、本時の活動のおよその見通しをもつ。</p> <p>2 家紋の歴史的背景を知る。</p> <p>3 家紋から連想することを考え、発表する。 「戦国武将の旗印もそうかな。」 「水戸黄門の印籠に使われているよ。」 「私の家のお墓に描いてあったかもしれないな。」</p> | <p>○ 意欲をもって鑑賞学習に取り組むことができるように、身近な和風の道具（畳・着物・書道など）や様式（靴脱ぎ・伝統行事など）を紹介し、雰囲気演出する。</p> <p>○ 「家紋」を生み出した日本の生活様式や文化が、現代の生活に今も根付いていると感じ取ることができるように、時代背景や役割を社会科の歴史学習と関連付けて説明しておく。</p> | <p>★授業や活動の始まる時刻を守ることができる。</p> <p>★学習の準備を整え、授業にのぞむことができる。</p> <p>◎本時のねらいを提示し、学習の見通しをもてるようにする。</p> |
| <p>形の特徴を基にイメージをとらえやすくするための工夫をしています。〔共通事項〕の視点で対象を見つめていくことは、感性を育て、鑑賞の能力を高めます。②</p> | | | |
| 展開 25分 | <p>4 家紋カード(15枚程度)を使って班ごとに家紋を鑑賞し、豊かな発想で気付いたことを出し合う。 「何となく格好いいからこれが好き。」 「これは葉っぱ。こっちは何だろう。」 「よく見ると同じ形が並んでいるよ。」</p> <p>生徒の活動を教師がイメージし、ねらいに迫ることができる家紋を精査しておきます。また、カードの大きさも配慮します。③④</p> <p>5 家紋の形や構成に注目し、班ごとにデザインの特徴を分類する。 「丸いシリーズを集めよう。」 「植物シリーズもできるね。」 「この3つは左右対象だね。」 「逆さにしても同じ…いや違うか」</p> | <p>○ 家紋に親しみがもてるように、有名な家紋を提示する。また、形やイメージをとらえやすくするために、ネガとポジでセットしておく。〔共〕</p> <p>○ 模様・並べ方・形・モチーフなど多岐に渡って分類できるように、カードの振り分け方を事前に調整・配慮しておく。</p> <p>○ 一人一人が主体的に感じ取れるようにカードにし、手で鑑賞できるようにする。</p> <p>○ 話し合う視点の提示に生かせるよう、机間指導しながら生徒の発言を集めておく。</p> <p>○ 話し合う視点が明確になるように、生徒の気付きを生かし、形や構成、イメージを柱に考えるようにする。〔共〕</p> | <p>★先生の話や友だちの発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる。</p> <p>◎根拠を明確にして伝える。</p> <p>関 家紋の意味と役割を理解するとともに、造形的なよさや美しさ、デザインの意図と表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。【観察・表情・対話】</p> <p>☆デザインの意図や表現の工夫を自分で複数見つけ、伝えている。(分類する根拠について考えてみるように助言する。)</p> <p>△気に入った家紋のどこに惹かれたのか、その理由を一緒に考える。</p> <p>鑑 家紋を自分の思いや考えをもって味わい、形のよさや構成の特徴、イメージを感じ取って分析している。【発言・対話】</p> <p>☆同じ家紋を複数の視点で根拠を持って分類している。(一度できた分類を、違う視点でも分類できないかを考えるように助言する。)</p> <p>△気に入った家紋と似たような家紋を一緒に探し、共通点を考えるように助言する。</p> |
| <p>本題材の〔共通事項〕のキーワード(形・イメージ)について生徒と共感的に対話し、それを具体的な言葉でアドバイスするようにします。(例：確かに葉っぱだね。使われている葉の向きや並べ方に注目してみるとどうかな。) ②③</p> | | | |

| | | |
|--|--|--|
| <p>6 班の意見をまとめ、発表用の画用紙に、分類方法を記入する。</p> | <p>発表により、対象の見方や感じ方を広げる目的があることを押さえます。結果として、言語活動の充実につながります。 ② ③</p> | |
| <p>7 班ごとに発表するとともに他班の発表から多様な分類方法を知る。</p> <p>「全体の形に注目しました。これは丸い形の分類です。特にこの2つは、円を3等分するようなデザインとして分けました。」 「実は、半分に折ると重なる線対称になっています。」 「次に、この3つは植物を基にデザインされています。」</p> <p>新たな情報を与え、学習を深めます。生徒の気づきを生かしながら目標の達成を図り、学習のまとめとします。 ① ②</p> | <p>○ スムーズに進行ができるように、発表の手順や台本を確認しておく。 ○ 生徒が語る言葉を生き生きとしたものにできるように、そのままを受け止めたり、教師の豊かな言葉で励ましたり膨らませたりする。 ○ いろいろな見方や工夫があることを他の班の発表から感じ取れるように、キーワードを板書する。</p> <p>構造的な板書により、学びを明確にします。板書計画を立てておくと授業を組み立てやすくなります。また、ワークシートにもキーワードを書けるようにしておき、学びの振り返りがしやすいようにします。 ① ③</p> | <p>生徒が感じたことや話し合ったことを自分の言葉で発表できるように支援します。ここでは、発表の手順やパターンを示して、円滑な進捗に配慮しています。生徒の実態に応じて工夫します。 ① ④</p>  |
| <p>8 多様な分類結果から、日本人のデザインの工夫の技を感じ取る。 「自然の形などをすっきりまとめているところがすごいと思うな。」 「江戸時代に庶民がたくさん作り出したという気持ちがある。」 「植物を基にしたデザインが多いってことは、それだけ自然が身近にあったということかな。」 「自分の家のイメージに合うように変化させてきたなんておもしろいね。」</p> <p>現代に受け継がれてきた家紋がもつデザインの素晴らしさや、日本人のデザインセンスについて気付いた生徒を賞賛することで、他の生徒の見方や感じ方が広まります。学習の深まりを生徒の言葉で確かめ、大切にします。 ③</p> | <p>○ デザインの多様性を知ることができるように、他の見方も紹介しておく。 ○ 日本人がもっている自然に対する畏敬の念や、伝統を受け継いでいく素晴らしさを感じ取れるように、家紋に名前がついていることや女紋についても紹介する。 ○ 優れたデザインが時代を超えて受け継がれていることを理解できるように、現在に活かされているデザインの事例を提示する。</p> <p>○ 短時間で振り返りができるように、書く文の量を工夫しておく。</p> | <p>★先生の話や友だちの発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる。 ◎振り返りの場面で考えたことを自分の言葉で発表できるようにする。</p> <p>鑑 現代に受け継がれている家紋の形や構成の美しさ、イメージを感じ取り、家紋の特性やよさに気付いている。 【表情・記述】 ☆日本の伝統文化への興味と敬意をもって家紋の構成美やよさをとらえている。(家紋が受け継がれている理由やデザインの特徴について考えるように助言する。) △文化として受け継がれたことを感じ取れるように、多くの家紋が生まれた理由を確かめたり、家紋を参考にした生徒のなじみのあるデザインを提示したりする。</p> |
| <p>9 ワークシートにまとめを記入し、学習の振り返りをする。</p> | | |

【板書計画】 板書で学習のめあてを明示します。本時の振り返りの際にも活用します。 ①

キーワードを【共通事項】としてとらえ、板書の仕方も工夫します。 ② ③ ④

粋なデザイン
—日本の伝統模様を学ぶ—

家紋とは？
・武将の旗印
・水戸黄門の印籠
・お墓

庶民にも
平安 → 江戸 → 現代

家紋のデザインを味わおう！
・気づき → 分類
・個人 → 話し合い → 発表
00:00まで 00:00まで 00:00まで


家紋の形や構成の美しさ、イメージを感じ取り、伝統模様のよさや美しさを味わおう。

キーワード
・単純化
・モチーフ(植物・動物)
・対称
・繰り返し
・直線／曲線

イメージ
・かたい
・やさしい
・重々しい
・強そう
・すっきり

【学習計画】
1 家紋とは？
・歴史的背景を知ろう
2 家紋の鑑賞
・分類してみよう(発表)
3 まとめ → ワークシート

まとめ
●現代に引き継がれる家紋
様々なモチーフとイメージ
日本人の美意識→粋なデザイン



時間的な見通しをもって活動できるように、日々の授業でも意図して学習計画や活動の時間を提示します。 ①

参考 中学校学習指導要領解説 美術編(文部科学省)
埼玉県中学校教育課程指導資料(埼玉県教育委員会)
埼玉県中学校教育課程評価資料(埼玉県教育委員会)
言語活動の充実に関する指導事例集(文部科学省)